

# 市議団ニュース

連絡先

2016年5月15日号

杉野 修 58-9010 渡辺昌代 21-9058

石田利春 52-7260 平間益美 23-9519

【議員団控室（市役所4F）の住所・久喜市下早見85-3】

「日本共産党久喜市議団ブログ」更新中です

久喜駅



募金を訴える平間議員

ヨーカドー前



真中が渡辺議員



駅地下道で  
右が杉野議員



東鷲宮駅

## 久喜市議会義援金の取り組み

久喜市議会では、熊本県を中心に発生した地震に対して、募金を訴える取り組みを4月27日・28日・29日の3日間に渡って行いました。被災状況は8月8日現在死者49人・関連死疑い18人・安否不明1人・避難者1万3887人・住宅被害6万8662棟に上っています。更に道路などの公共土木施設被害額は1700億を超えるといわれています。

南栗橋駅



右から2番目が石田議員

日時	募金場所	金額(円)	参加議員数
4月27日	栗橋駅	39,800	5
	鷲宮駅	18,195	3
4月28日	久喜駅	47,667	10
	南栗橋駅	12,245	6
	東鷲宮駅	22,840	6
4月29日	イトヨーカドー久喜店	27,908	10
	モラージュ菖蒲	38,666	4
	合計	207,321	44

集まった募金は5月2日に日本赤十字社へ送金されました。(総額は各議員五千円を含めて、342,321円)

# 熊本大地震被災地に支援を！ 議会で義援金活動に取り組む

## 久喜市からも支援物資が

熊本大地震の被災状況は深刻です。党議員団では、被災地への支援強化を求めて支援状況を調べました。

久喜市では、被災者を支援するため、下記の支援物資を送りました。

(1) 支援自治体・熊本市

(2) 支援物資

・飲料水(久喜の水)500CCペットボトル 5,040本

・アルファ米 2千食

・ウエットタオル 10,000枚

・トラックは4月20日出発、4月21日到着。

◆議員団では、災害支援を学ぶ意味からも、今後、市職員の派遣なども必要と考えます。

## 大地震埼玉県は大丈夫か？

地震の専門家によれば、「日本列島は4つの大陸移動するプレートの境界や真近かに位置している。3・11のようにプレートは移動し続け、エネルギーもたまっている。そして、今回のように『活断層』も列島各地を縦横無尽に走っている。また、『南海トラフ』や『首都直下型』地震など、こうした巨大地震が必ずしも起こるかもしれない、連動して火山の爆発も有り得る」としています。

## 全国どこも安心はできない

「憲法フォーカスジャンボリー」に出演された双葉町の元町長井戸川氏は「あすはわが身だということを肝に銘じてほしい。」と何度も念を押された。私たちに残された選択肢は、「いつ大災害に襲われてもいいように備えるしかない」のである

## 「久喜にも断層はあるが・・・」

久喜断層は元荒川構造帯の北東に位置している。久喜市内の清久(清久地区)より太田袋(江面地区)に連なる地震地塊の境界がその位置や規模からして久喜断層にあたるものとみられている。清久・太田袋の地震地塊の境界において過去の地震では「関東大震災(1923年)」「茨城県南西部地震(1974年)」などで震動の境界が現れているが、「西埼玉地震(1931年)」の際には境界はあらわれなかった。2010年8月には独立行政法人産業技術総合研究所が行った調査結果が出され、反射法地震探査にて地表より深度1キロm付近まで調査したが、断層状の変形は発見されなかったという

# 「済生会栗橋病院は市民の命と健康を守る拠点」 移転せず留まるよう「要望書」が出される！

地元栗橋地区では、「存置」を  
求めて要望活動はじまる

済生会栗橋病院と加須市で「移転」の  
覚書を締結したことに対して、地元栗  
橋では衝撃を持って受け止められ、不  
安の声が上がっています。

済生会栗橋病院は、栗橋町が久喜市  
と合併する以前の平成元年に、栗橋  
町・医師会・地元住民が一体となって  
誘致した病院であり、これまで栗橋町  
の地域医療の要を担ってきた病院で、  
住民も済生会栗橋病院が行う様々な  
行事にも参加し、わが町の病院との思  
いが定着していたからです。

特に地域の医療連携では、検査機器  
や入院病床を持ち、重篤な病気・手術  
などを担う「急性期病院」としての役  
割を果たして来た病院で、この部門が  
移転するとなれば、地元住民の「いの  
ち」に直結すると考えられます。



田中市長に要望する地元の議員、区長

栗橋地域の議員と区長  
連名で要望書提出する

栗橋地区では、地元住民の不安の声  
を受け止め、4月17日、栗橋地区選  
出議員5名、(山田達雄、柿沼繁男、  
並木隆一、矢崎康、石田利春)と地元  
46行政区の区長さんの内43名が集ま  
り、今後、久喜市や久喜市議会、そし  
て済生会栗橋病院へ、存置を求め地元  
の声を届けていくことを確認しまし  
た。

4月26日には、地元区長さん全員  
の署名を添えた要望書を、田中暄二久  
喜市長、井上忠昭久喜市議会議長に提  
出。要望書には「①病棟建替えに向け  
た基金の創設、②建替え可能な病院敷  
地の確保、③リスクを伴う診療を担う  
公的病院への支援措置」などの検討を  
求めた主旨が示され、現在地への存置  
に力を尽くしてほしいと要望しまし  
た。更に、済生会栗橋病院院長、遠藤  
康弘様には、市民の生命と健康を守る  
拠点として現在地にとどまっていほし  
いと要望して来ました。

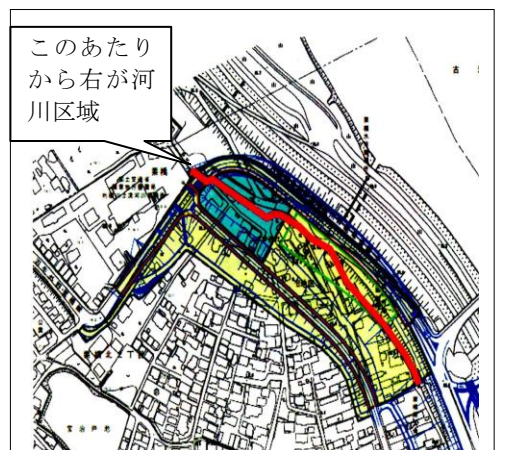
今後、地元栗橋地区のみならず、久  
喜市全体、の地域医療を担う急性期病  
院として「存置」に向けた具体的な取  
り組みが進むよう、久喜市民の皆さん  
や、近隣自治体の皆さんとともに力を  
つくしていきたいと思えます。  
(「存置」とは、機能をそのまま残す  
という意味で使っています。)

## 栗橋 菖蒲

## 都市計画の変更案が示される

栗橋北2丁目地区 利根川  
の強化堤防に伴う河川改修  
の変更が示され、主な変更は  
河川区域となる地区を市街  
化調整区域に編入、造成計画  
に合わせて都市計画道路の  
位置を変更する。地区計画、  
河川区域の建築物の用途や  
高さ等を定めるなどです。  
地元では栗橋関所の復元を  
求める声が聞かれており、地  
区計画に織り込んで行くこ  
とが求められています。

図面の上部が利根川の河川区域で  
「市街化調整区域」となります。



このあたり  
から右が河  
川区域



菖蒲地区は、モラージュ  
菖蒲に隣接してバス  
ターミナルを集約  
した市街地(商業施設  
をふくむ)を整備する  
ための変更です。  
バスターミナルの規  
模は、大型バス7・8  
台程度が見込まれて  
います。



## 「憲法フォークジャンボリー」 が開かれました！ 多彩で豊かなパフォーマンス

2016年5月4日、第4回目となる今回は、初めて加  
須市で開かれました。2005年笠木透氏により憲法を守  
るという趣旨で上野水上公園にて開催され、「戦争放棄  
」を合言葉に全国各地に広がっています。

内容は、弾き語り、朗読劇、コーラス、バンド、講  
談、などに加え、元済生会栗橋病院本田医師も参加し、  
多彩な催しとなりました。参加者は250人を越えて、  
大成功となりました。来年も楽しみです。